

令和7年度 事業報告等について

1－1 文化財の発掘調査及び普及啓発事業（公益目的事業）

県内における埋蔵文化財の発掘調査及び考古学上の学術技術の研究・研修を行うとともに、文化財保護思想の涵養と普及を図り、県民生活の向上と地域文化の進展に寄与するため次の事業を実施した。

(1)埋蔵文化財の調査、保護のための発掘調査

ア 一般調査受託事業

番号	事業名 (市町村名)	委託者	当初契約年月日 変更契約年月日	当初契約額 変更契約額 (消費税を除く)(円)	精算額 (消費税を除く)(円)	終了日	備考
1	令和7年度首都圏中央連絡自動車道路（大栄～横芝）埋蔵文化財発掘調査 (成田市・多古町・横芝光町)	東日本高速道路株式会社	令和7年4月1日 令和8年3月24日	319,287,000 288,342,000	288,342,000	令和8年3月31日	整理 報告書刊行 木戸台遺跡ほか 木戸台遺跡ほか
2	更なる機能強化整備に係る埋蔵文化財調査（2025） (成田市・芝山町・多古町)	成田国際空港株式会社	令和7年3月31日 令和8年3月31日	3,088,312,000 2,685,326,000	2,685,326,000	令和8年3月31日	確認調査 本調査 整理 五反田清水沢遺跡(1)～2ほか54地点 五反田清水沢遺跡(1)～2ほか54地点 干芝遺跡(2)ほか
3	令和7年度佐倉第三工業団地に伴う埋蔵文化財調査 (佐倉市)	千葉県土地開発公社	令和7年4月1日 令和8年3月30日	178,489,000 167,660,000	167,660,000	令和8年3月31日	確認調査 本調査 整理 神門道乗谷遺跡(2)～2 神門道乗谷遺跡(2)～2 神門道乗谷遺跡(1)・(1)～2ほか
合 計				3,586,088,000 3,141,328,000	3,141,328,000		発掘作業55地点 合計面積474,901㎡

イ 発掘支援受託事業

番号	事業名 (市町村名)	委託者	当初契約年月日 変更契約年月日	契約額 (消費税を除く)(円)	精算額 (消費税を除く)(円)	終了日	備考
1	(令和6年度契約分) 埋蔵文化財発掘調査支援業務の変更契約 (流山市・柏市・八千代市・印西市・鎌ヶ谷市・野田市)	千葉県	令和6年6月1日 令和7年3月27日	単価契約	63,266,805	令和7年6月30日	(変更契約) 履行期間の延長 原契約 令和6年6月1日～令和7年3月31日 変更後 令和6年6月1日～令和7年6月30日
2	(令和7年度契約分) 埋蔵文化財発掘調査支援業務 (流山市・柏市・印西市・野田市・東金市)	千葉県	令和7年5月30日	単価契約	441,807,229	令和7年3月31日	
合 計					505,074,034		発掘作業19地点 合計面積31,726㎡、塚1基

(2)埋蔵文化財の出土品整理、報告書刊行

ア 報告書の刊行

番号	報 告 書 名	備 考
1	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書52 ―横芝光町木戸台遺跡・大山遺跡(1)・(2)・(4)・(5)・(6)古墳時代以降編―	第803集
2	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書53 ―多古町千田の台遺跡(3)～(5)―	第804集
3	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書54 ―成田市大安場Ⅱ遺跡・大安場Ⅲ遺跡・水の上Ⅰ遺跡・夜番Ⅱ遺跡・夜番Ⅰ遺跡―	第805集
4	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書55 ―横芝光町向田城跡―	第806集
5	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書56 ―多古町一ツ塚遺跡・大塚台遺跡(4)～(8)・五反田清水沢遺跡(2)―	第807集

(3) 普及事業等
ア 普及事業

番号	事項	内容	備考
1	遺跡見学会	発掘作業及び整理事業の成果を、児童・生徒を含む県民に広く公開して、埋蔵文化財への理解と関心を深める一助とする。	令和7年7月27日(日) 佐倉市神門道乗谷津遺跡 参加者 150名
2	出土遺物公開事業	出土品の有効活用及び県民の埋蔵文化財への理解促進と文化財保護思想の普及を目的とする事業である。 令和7年度は、「財団設立50周年記念展part2 地中からのメッセージ～古墳・古代・中近世」と題し、2会場(房総のむら風土記の丘資料館・千葉県立中央博物館)で、設立から50周年を迎えた財団が発掘した選りすぐりの考古資料をとおして、多様な文化の様子を知っていただくことができるように、出土資料と解説パネルにより、わかりやすく解説した。 あわせて関連事業として、展示解説会、ワークショップ、講座、講演会を開催した。 なお、本事業は、令和7年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(「地域の特色ある埋蔵文化財活用」事業の交付を受けて実施した。	【展示会場】 (1)房総のむら風土記の丘資料館 会期 令和7年9月6日(土)～令和7年10月26日(日) 50日間 入場者 22,954名 (2)千葉県立中央博物館 会期 令和8年1月17日(土)～令和8年2月23日(月祝) 37日間 入場者 7,403名 展覧会入場者総数 30,494名 【展示解説会】 (1)房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和7年9月13日(土)・10月19日(日) 参加者数41名 (2)千葉県立中央博物館 実施日 令和8年1月18日(土)・2月12日(日)・2月14日(土) 参加者数114名 【講座】 (1)房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和7年9月28日(日) 参加者数40名 【ワークショップ】(指組紐づくり) (1)房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和7年9月20日(土) 参加者数9名 (2)千葉県立中央博物館 実施日 令和8年1月31日(土) 参加者数9名 【講演会】 会 場 千葉県立中央博物館 令和8年2月15日(日) 参加者数137名
3	広報紙の発行	当財団の業務内容や埋蔵文化財について広く一般に紹介し、発掘調査や埋蔵文化財が身近なものであることの認識を深めてもらうとともに、文化財保護の重要性について理解を図るため、広報紙を作成し、学校及び生涯学習施設等に配布した。	「房総の文化財」65号(令和7年11月28日発行)・66号(令和8年3月25日発行) A4版 各10,000部 配布先 博物館、図書館、公民館、県内小中学校等
4	年報の刊行	令和6年度事業の内容や成果等を取りまとめて「年報」を作成し、配布した。	「千葉県教育振興財団文化財センター年報 No.50ー令和6年度ー」 (令和8年1月30日発行) A4版 700部 配布先 教育委員会、大学、博物館、図書館等
5	映画「掘る女」上映会&トークショーの開催	当財団の主たる業務である発掘調査と考古学の魅力を身近に感じていただくことで、広く当財団の業務と埋蔵文化財保護への理解を深めてもらうため、映画上映会および出演者によるトークショーを実施した。	映画「掘る女～縄文人の落とし物～」上映会&トークショー 会 場 四街道市文化センター大ホール 実施日 令和8年1月18日(日) 参加者数491名
6	ホームページの公開	当財団の業務と調査成果等を全国に紹介した。 展覧会、現地説明会、各種事業について随時掲示した。また、広報紙・研究連絡誌のダウンロードページを更新した。 併せて、調査報告書一覧、パンフレット類、申請書類、所在地・連絡先を掲示し、配布業務の軽減を図った。	令和07年度年間アクセス数 269,938 令和06年度 “ 267,259

イ 研究事業(各種研修・全国埋蔵文化財法人連絡協議会等を含む)

番号	事 項	内 容			
1	研究連絡誌の刊行	技術職員の資質向上及び相互の調査研究に係わる研鑽のため、研究連絡誌第93号・第94号を刊行した。 A4版 750部 配布先 教育委員会、大学、博物館、図書館等			
2	研究紀要の刊行	財団設立50周年にあたり、研究成果をまとめた論文集を刊行し文化財普及活動の一助とするため、研究紀要29を刊行した。 A4版 500部 配布先 教育委員会、大学、博物館、図書館等			
3	調査・研究用資料の整備及び新技術の検討	○調査・研究用資料の整備 埋蔵文化財発掘調査報告書等の資料整理・公開などを実施した。 蔵書データ数146,754冊 令和7年度受入図書2,704冊(購入298冊、寄贈・寄託2,363冊、他43冊) 令和7年度図書室利用状況(利用者数3,260人、貸出数3,603冊) ○埋蔵文化財調査の新技術の検討 「蛍光X線分析装置」を導入するとともに、プロジェクトチームを立ち上げ、運用方法等の検討を行った。			
4	発掘調査報告書のデジタル化	発掘調査報告書をデジタル化してWEB上で公開する「全国遺跡報告書総覧」への登録に向けて、当財団のデジタル化されていない発掘調査報告書をデジタル化する作業を順次行った。			
5	各種研修会等	(開催) ○第1回職員研修会 ○第2回職員研修会 ○インターンシップ受け入れ (参加) ○市町村担当職員講習会(千葉県) ○文化財担当者専門研修「保存科学(材質・構造調査)課程」 ○埋蔵文化財担当職員講習会(文化庁ほか)	令和7年7月11日(金) 令和8年2月20日(金) 令和7年8月19日(火) 令和7年5月27日(火)～28日(水) 令和7年10月14日(火)～17日(金) 令和8年1月28日(水)～30日(金)	本部4階大会議室、成田空港2025発掘現場 本部4階大会議室、県立中央博物館 本部、佐倉市神門道乗谷津遺跡(2)-2 県立美術館 奈良文化財研究所 オンライン受講	大学生3名参加 2名参加 1名参加 1名参加
6	全国埋蔵文化財法人連絡協議会等	○全国埋蔵文化財法人連絡協議会第45回総会 ○令和7年度関東ブロック第1回協議会(総会) ○令和7年度関東ブロック第2回協議会 ○令和7年度第1回関東考古学フェア実行委員会 ○令和7年度第2回関東考古学フェア実行委員会 ○令和7年度第3回関東考古学フェア実行委員会 ○関東考古学フェア実行委員会主催 遺跡発表会「発掘された関東の遺跡2025」 ○令和7年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会 ○デジタル技術等活用推進委員会関東ブロック地区委員会第1回委員会 ○デジタル技術等活用推進委員会関東ブロック地区委員会第2回委員会	令和7年6月12日(木)・13日(金) 令和7年7月25日(金) 令和7年12月19日(金) 令和7年5月19日(月) 令和7年8月10日(土) 令和8年2月17日(火) 令和7年8月10日(土) 令和7年11月6日(木)・7日(金) 令和7年7月9日(水) 令和7年3月2日(月)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口(愛知県名古屋市) 千葉県教育振興財団文化財センター LABI/バンケット高崎(群馬県高崎市) 東京都教育庁地域教育支援部大塚分室 横浜市歴史博物館 東京都教育庁三田分室 横浜市歴史博物館 高知会館(高知県高知市) Webによる遠隔開催 埼玉県埋蔵文化財調査事業団本部	参 加 参 加 参 加 参 加 参 加 参 加 参 加 参 加 欠 席

1－2 労働者派遣事業（収益事業）

埋蔵文化財発掘調査の円滑な実施に寄与するため必要な労働者を派遣して行う本事業は、該当する事業の受託がなかったため、実施しなかった。

2 社会教育等支援事業(公益目的事業) 及び 県立施設における利用者サービス事業等(収益事業)

(1)「房総のむら」指定管理業務受託に係る事業

千葉県からの指定を受け、房総のむら(千葉県印旛郡栄町龍角寺1028)の管理運営を行った。

ア 契約期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 2,319,285千円(税込) 当初契約額:2,306,000千円(税込)
(内訳 R6:461,200千円 R7:474,485千円 R8:461,200千円 R9:461,200千円 R10:461,200千円)

ウ 利用状況等(総括)

	R7年度	R6年度	前年度比
開館日数	301	301	0
入館者数	159,884	161,324	△ 1,440
うち有料	47,822	46,141	1,681
うち無料	112,060	115,183	△ 3,123
団体数	374	372	2
団体入館者数	34,191	31,438	2,753
個人入館者数	125,693	129,886	△ 4,193
外国人入場者数	5,537	4,426	1,111
うちタイ	1,462	279	1,183
うち台湾	1,025	1,576	△ 551
うちその他	3,050	2,571	479
体験者数	87,920	102,282	△ 14,362
うち当日体験	66,541	79,574	△ 13,033
うち予約体験	3,366	3,161	205
うち団体体験	18,013	19,547	△ 1,534
ロケ使用回数	16	9	7
うち映画	2	1	1
うちテレビドラマ	11	5	6
うちCM	0	1	△ 1
うちその他	3	0	3

エ 主な年間事業の報告

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【体験・実演・展示】 農家・商家・武家屋敷・風土記の丘資料館などでの 体験・実演・展示	通年	農家では米、野菜の収穫や農具体験、七夕馬作りの実演などを行い、商家や武家屋敷では茶道、そば打ち、太巻き寿司作り、絵付け、紙漉きなどの体験のほか、杉玉作りなどの実演を行い、風土記の丘資料館では勾玉作りや原始・古代のアクセサリ作り体験のほか考古学講座などを行った。	159,884	公益目的事業 収益(税抜) 477,086,452
	【展覧会】 企画展「房総の海辺のムラー漁撈から見た人々のくらしー」	12月6日(土)～ 2月1日(日)	下総・上総・安房地方のそれぞれ特徴のある漁村を取り上げ、近現代を中心に海に支えられた人々の生活やその変貌を、漁撈具や浮世絵、写真などを通して紹介した。	20,091	費用(税抜) 460,328,417
	屋外展示「千葉の民俗芸能-房総獅子舞祭-」	10月18日(土)～ 11月24日(月祝)	県内3カ所の特徴の異なる獅子舞に焦点を当て、写真パネルを用いて紹介した。 なお、11/23(日)は3団体による獅子舞の上演を行った。	26,190	
	「地中からのメッセージ-千葉県教育振興財団設立50周年記念展part2-」	9月6日(土)～ 10月26日(日)	公益財団法人千葉県教育振興財団(文化財センター)は11月に設立50周年を迎えたことを記念し、今までの発掘調査で出土した選りすぐりの考古資料を展示する中で、今年度はpart2として古墳・古代・中近世の展示を行った。	22,954	
	【イベント】 春のまつり	5月2日(金)～ 5月6日(火振休)	「あそびと暮らし」をテーマに、春を満喫できる様々な体験を実施した。そのほか、大道芸や演舞の上演、伝統工芸品の実演・販売などを行った。5日間の開催期間のうち、5日を「わくわくデー」と題して実施した。	12,120	
	むらの縁日・夕涼み	8月2日(土)～ 8月3日(日)	「涼む」をテーマに日中は夏にちなんだ製作体験を行ったほか、夕方からは怪談話や竹灯籠の展示などを行い、賑やかな縁日と夕涼みの雰囲気再現し、来館者の増加を図った。浴衣の方は入場無料。	5,600	
	秋のまつり	10月4日(土)～ 10月5日(日)	「秋の収穫への感謝」をテーマに、実りの秋を感じることでできる体験や民俗芸能、地元の生産物の販売などを実施した。	3,145	
	文化の日・日本遺産北総四都市デー	11月3日(月祝)	文化の日に合わせて、伝統技術を持った職人による実演・販売や体験、大道芸の上演等を行った。また、日本遺産北総四都市江戸紀行の構成市の観光・物産等の紹介を行う機械とした。入場無料	4,724	
	むらのお正月	1月3日(土)～ 1月4日(日)	獅子舞や羽根つきなどの昔懐かしい日本のお正月風景を展示するとともに、お正月ならではの体験を実施した。和服の方は入場無料	5,923	
	さくらまつり	3月20日(金祝)～ 3月25日(水)	館内で咲き誇る約300本の「桜」を広く県民に紹介し、「春」や「桜」に関する実演、体験を実施した。なお、桜の開花には少し早かったが、早咲きの一部の桜は開花していた。開催期間を5日間とし、うち、22日(日)を「わくわくデー」と題して実施した。	5,648	
	【講座・講演会・見学会等】 伝統文化入門		日本の伝統的な芸能や文化に関する実演及び体験、講演を通して、日本文化への理解を深めていただいた。	47	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	教員のための博物館利用研修会	5月25日(日)	重要無形文化財能楽保持者ほかにおける狂言の体験と上演	4	
		9月27日(土)	利き茶体験		
		12月20日(土)	お正月の寄せ植え体験		
	考古学講座	7月25日(金)	教員を対象に「房総のむら」についての理解を深め、学校で利用する際の学習計画の立案や事務手続きなどのポイントを解説した。	154	
		4月20日(日)	考古学講座「貝輪の考古学」		
		7月27日(日)	「家形埴輪の構造・変遷と性格」		
		9月28日(日)	「古墳時代から古代の土地開発～東葛から印旛地域を中心に～」		
		2月22日(日)	「国造制と房総の豪族」		
	古墳ガイド	4月5日(土)	風土記の丘資料館学芸員が風土記の丘と周辺の高墳のガイドツアーを行い、古墳への理解を深めた。	46	
		6月8日(日)			
		11月8日(土)			
		3月1日(日)			
	建物ガイドツアー	4月27日(日)	風土記の丘資料館学芸員が、房総のむら敷地内に移築されている文化財建造物のガイドツアーを行い、文化財建造物への理解を深めた。	8	
		6月22日(日)			
		11月15日(土)			
		3月7日(土)			
	展示解説会	4月12日(土)	風土記の丘資料館の常設展示を資料館学芸員が解説を行い、展示内容への理解を深めた。	52	
		6月14日(土)			
		8月9日(土)			
		10月13日(月祝)			
11月2日(日)					
12月7日(日)					
1月25日(日)					
子ども里山観察会	3月29日(日)	里山の自然が残る房総の村の敷地内で動植物等の観察を行った。	29		
	7月21日(月祝)	「夏の夜の虫たち」			
	10月11日(土)	「野生のきのこ観察会」			
里山観察会		きのこ、コケについてともに元中央博物館研究員を講師に迎え、房総のむらの豊かな里山の自然環境を活かして、自然観察会を行った。	23		
	10月19日(日)	野生のきのこ			
	11月23日(月祝)	コケ植物			

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	野鳥観察会	2月8日(日) 中止	房総のむら及び周辺で見られる冬の野鳥の観察会を行う予定だったが、降雪のため中止		
	ボランティアによる里山ギャラリー	5月24日(土)～ 5月25日(日)	来館者が房総のむらで撮影した写真に俳句を添えて、東屋前のよしず小屋に屋外展示した。房総のむら自然観察ボランティアが同行し、支援した。	46	
	ボランティアによる自然観察会	5月11日(日) 6月15日(日) 7月13日(日) 9月14日(日) 10月12日(日) 11月16日(日) 12月14日(日) 1月11日(日) 2月15日(日) 3月15日(日)	房総のむらボランティアによる自然観察会を行った。	121	
	町並み探検隊	6月22日(日) 11月16日(日)	江戸時代に栄え、今に歴史を伝える町並みや史跡を探検することにより、県の歴史や地形・地勢について学んだ。6月は市川市、11月は鎌ヶ谷市を訪問。	12	
	房総座(房総のむら落語会)	6月29日(日) 10月26日(日) 2月7日(土)	日本の伝統芸能である落語を堪能する落語会を3回開催した。 柳家三三師匠 柳家三之助師匠 柳家三三師匠	309	
	歴史の里の音楽会	10月13日(月祝)	千葉交響楽団の楽団員による演奏会を旧学習院初等科正堂で開催した。	91	
	ユニセフ・ラブウォーク in 房総のむら	11月23日(日)	房総のむらとその周辺を会場に、歴史と自然を学びながら、国際理解を深めることを目的とした事業を、千葉県ユニセフ協会と共催で実施した。	92	
	探索型ミステリー 房総のむら事件簿	12月13日(土)～ 12月14日(日)	江戸時代の町並みを舞台とし、参加者がタイムスリップした中で難事件を解決していく「没入型」のイベントを実施した。	70	
	【開館時間の延長】	8月15日(金) 8月16日(土) 8月22日(金) 8月23日(土)	夕刻から夜に移行する時間帯の商家町並みの景観PRを目的に実施。 開館時間を午後4時30分～午後7時30分に延長し、午後4時30分以降の入館者を無料とした。		
利用者 サービス事業 (収益事業)	【物品販売】 売店	通年	房総のむら総合案内所「総屋」及び風土記の丘資料館売店において、房総の伝統的工芸品や来館の記念となる房総のむらオリジナルグッズ、生産物、考古学関連グッズ等を販売した。		収益事業 収益(税抜) 9,705,597
	【ロケ】	随時	フジテレビドラマ「波うららかに、めおと日和」、NHK「魯山人のかまど」など、計14件のロケを受け入れ、房総のむらの知名度向上に役立てた。		費用(税抜) 3,321,856

(2)「鴨川青少年自然の家」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、鴨川青少年の自然の家(千葉県鴨川市太海122-1)の管理運営を行った。

ア 契約期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 576,961千円(税込) 当初契約額 558,485千円(税込)

(内訳 R3:117,484千円 R4:115,208千円 R5:112,447千円 R6:115,783千円 R7:116,039千円)

ウ 利用状況等(総括)

	R7年度	R6年度	前年度比
開所日数	314	332	△ 18
利用者数	31,341	48,199	△ 16,858
うち宿泊者	14,887	24,791	△ 9,904
団体数	346	442	△ 96
うち個人	12	8	4
うち団体	334	434	△ 100
カッター利用者数	3,076	6,369	△ 3,293
カッター利用延べ艇数	130	262	△ 132
シーカヤック利用者数	989	1,830	△ 841
シーカヤック利用延べ艇数	498	920	△ 422
創作活動参加者数	1,800	3,206	△ 1,406
創作活動参加団体数	53	65	△ 12

エ 主な年間事業の報告

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	春の訪れを探す！「房総ハイキング」	4月13日(日)	天候不良のため中止		公益目的事業 収益(税抜) 143,114,196
	ぶちデイキャンプ	4月19日(土)	5人一組の少ない人数であったが、ネイチャーゲームやタープの設営、野外炊事の準備から調理、全ての片付けを参加者同士が協力して行なうことができた。	5	
	関東ふれあいの旅 ～ 鴨川の渚百選を訪ねて ～	5月11日(日)	気候に恵まれ、ウォーキングに適した日であった。海岸だけでなく棚田から海を眺めるコースを歩き、コース上にある安房の三名工の一人である武田石翁の作品を鑑賞した。	20	費用(税抜) 138,593,042
	磯の生き物を観察しよう	6月14日(土)	仁右衛門島を活動場所として、磯の生き物観察をした。観察だけでなく、島の探検や、生き物を守るためのゴミ拾い活動も取り入れ、楽しみながら自然を学ぶ活動ができた。	11	
	マリンアドベンチャー in 鴨青キャンプ	7月26日(土) ～27日(日)	カッターやシーカヤックのマリンスポーツ体験はもちろん、計画の中に組み込んでいた家族の時間を楽しんでいる様子が伺えた。また、朝の散歩時は、参加者同士の交流する姿も見られた。	39	
	真夏のウォーターサバイバル 2025	8月9日(土)	5グループに分かれ、各自が持参した水鉄砲や用意した水風船を使って各ポイントに設けられた的や敵を倒しながらコースを回り、競い合った。また、参加者と所員との水鉄砲対戦も行った。	30	
	シーカヤックツーリング	8月30日(土)	天候不良の予報のため活動場所を変更して実施。参加者は、外房の鴨川の景色を楽しみながらツーリングを堪能した。高温であったが、波風は穏やかで初心者にも体験しやすかった。	12	
	鴨青キャンプ in 清和県民の森	9月20日(土) ～21日(日)	予想以上の雨や停電が発生し予定を変更したが、事故なく終えられた。あえて細かな時間設定をしなかったことで、参加者同士の話し合いが生まれ、グループの一体感が高まった。	10	
	カヤック大冒険～みずうみ編～	10月18日(土)	亀山湖で開催した。全員が同一のコースではなく、通過ポイントを決めて参加者自身が自己の技術や体力を考慮してコースを決めるようにしたので、思う存分操艇を楽しむことができた。	18	
	鴨青ハロウィンナイト	10月25日(土)	仮装しての参加を条件とし、参加者投票の仮装コンテストを実施した。参加者は肝試しやバンドのライブ演奏、焚火でのマシュマロ焼きを存分に楽しんでいた。	50	
	第37回鴨青まつり	11月9日(日)	雨予報のため屋外での展示等を一部変更して実施。出演・出店31団体、近隣の中高生やボランティア28人に加え、財団本部からの応援6人と、多くの人の協力により運営することができた。	327	
	晩秋の山を歩こう	11月22日(土)	講師による地域の歴史等の説明を交えながら、御殿山(南房総市)登山と平群山田地区の散策をした。晩秋だが晴天で気温も高く、山歩きに適した気候だった。	33	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	連弾ピアノコンサート in 鴨青	11月30日(日)	連弾ユニット「RAI」の2人による演奏会。今年はクラシックとジャズを組み合わせたプログラムであった。今年から入場料を徴収するようにしたため、来場者は減少したが、好評を得ている。	36	
	ウミホタル観察会 I	11月30日(日)	ウミホタルの生態について講師の説明を受け、採取と観察活動を行った。穏やかな天候であったが採取できるウミホタルの数は少なかった。その分、採取できた時の感動は大きかった。	21	
	X' MAS ワークショップ	12月20日(土)	リース作りとレクを行った。リース作りでは、豊富なアイデアを出してオリジナルリースを作ることができた。また、レクではクリスマスに関するクイズやゲームに楽しそうに参加していた。	10	
	第7回鴨青オリパラピック	1月15日(木)	鴨川市福祉作業所と障害福祉施設らんまんの通所者29人が参加。3チーム対抗で風船バレーボールとペガールボールを行った。長狭高生11人がボランティアとして運営や片付けを行った。	40	
	鴨青クラフト体験	1月17日(土)	木片を使い制作活動を行った。工具の使用経験がない子のために、釘を打つ、木を切る体験をした後、全員で共通課題のペン立てを制作した。その後、自由に創造したものを制作したが、スタッフの予想を超える豊かな発想の作品が多く見られた。	5	
	ウミホタル観察会 II	2月1日(日)	前回同様、講師からウミホタルの生態についての説明を受け、採取を行った。日没後、暗くなってからは順調に採取することができ、幻想的な青白い光を観察することができた。	10	
	ブルーダック千葉クエスト	2月28日(土)	乗船の機会が減った東京湾フェリーや、神奈川県内の路線バスに乗り「くりはま花の国」に行った。公共交通機関利用の際は、マナーを意識して行動した。起伏に富んだ園内を、グループに分かれて自由に探検した。	7	
	鴨青 本気おにごっこ	3月7日(土)	天候不良のため中止		
	【共催】 ブルーダック子ども教室	通年	地域の子ども会や学童クラブへの支援事業で、各会に所属する子ども達が様々な活動を経験することにより、生活体験を増やし好ましい人間関係づくりを学んだ。	126	
	【共催】 ブルーダック土曜スクール	通年	地域の土曜スクールへの支援事業で、子ども達に様々な活動の場を提供し、社会経験を増やすとともに好ましい人間関係づくりを学んだ。	425	
	【共催】 セカンドスクール 豊かな体験・確かな学び	5月8日(木) ～9日(金)	定置網での漁獲体験は未明に出港するため、宿泊が不可欠となる。本施設での宿泊を通し、学校では学ぶことのできない貴重な経験ができた。	9	
	【共催】 高校生のためのボランティア講座 ①	6月8日(日)	講師から心構えや具体的な活動について説明を受け、ボランティアに関する知識を深めることができた。また、災害時における食事作り体験として湯煎による炊飯とカレー作りを行い、実践力を高めることができた。	27	
	【共催】 高校生のためのボランティア講座 ②	9月14日(日)	医療、障がい者、福祉の各分野でのボランティアを行う際の心構えや、具体的な支援方法を学び、参加者の知識・経験値・意欲を深めることができた。	18	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【共催】 ツール・ド・ちば 2025	10月11日(土)	サイクルイベントのエイドステーションとして参加者に昼食会場等の提供をした。参加者とスタッフで総勢200名以上の利用があった。悪天候ではあったが、室内で昼食をとることができ、参加者は満足していた。	225	
	【共催】ブルーダック旗争奪親善少年ソフトボール大会	11月15日(土) 16日(日) 12月 7日(日)	合計24チームが8ブロックに分かれ、予選リーグ、決勝トーナメントを実施した。大会を通じて児童の体力・技能の向上だけでなく親睦が図られ、健全育成につながった。	839	
	【共催】 この本だいすき房州鴨川セミナー	11月16日(日)	絵本作家ひろかわさえこさんを招き「小さな心に種をまく」をテーマにした講演会を開催。実演を交えながら作品に込めた願いを語る講師のことばに、多くの参加者が熱心に耳を傾けていた。	113	
	【研修会】 体験活動指導者研修Ⅰ ～ 海辺編 ～	7月5日(土)	終日シーカヤック研修を実施した。午前中は海岸でうねりのある状況下での操船を通して、パドルング技術の向上を図った。また、午後は会場を漁港に移し、安全を確保しながら落水を想定しての訓練を行い、知識と技能の習得を図った。	17	
	【研修会】 体験活動指導者研修会Ⅱ～野外炊事編～	12月21日(日)	災害時を想定したカレー作りを行った。経験者が多かったことから、薪割やまい切り火起こし器、ファイアースターターを使っでの火起こしも活動に取り入れた。	8	
利用者サービス 事業 (収益事業)	利用者サービス事業		利用者の利便性を図るため、自動販売機を設置して清涼飲料水などの販売を行った。		収益事業 収益(税抜) 593,820 費用(税抜) 249,883

3 千葉県スポーツ振興基金の管理運営事業(公益目的事業)

千葉県スポーツ振興基金の運用益による継続的な財源の下、県内のスポーツ団体等への助成を通じ、千葉県の生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図った。

事業名	事業概要		
千葉県スポーツ振興基金の 管理運営	本県のスポーツ事業やレクリエーション活動の振興を図るため、スポーツ振興基金の管理運営に関する業務を実施した。		
	(1)造成事業		
	ア 造成事業		
	県・市町村出損金		0円
	企業・団体・個人などの民間寄附		634,404円
	アクアラインマラソンチャリティ		0円
	記念品付募金(クオカード)		802,570円
	合 計		1,436,974円
	イ 造成累計 1,255,117,338円・・・造成進捗率(62.8%)		
	(2)助成事業		
	助成事業		
	千葉県スポーツ協会	1件	3,190,000円
	千葉県レクリエーション協会	1件	1,070,000円
	千葉県スポーツ推進委員連合会	1件	1,070,000円
	市町村	27件	3,272,388円
	千葉県障がい者スポーツ協会	1件	300,000円
	総合型地域スポーツクラブ	7件	540,000円
合 計	38件	9,442,388円	
(3)運営			
千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会幹事会	(令和 7年 4月)	書面による	
〃 募金推進委員会	(〃 5月)	書面による	
〃 助成事業説明会	(〃 9月)	資料配布による	
〃 審査委員会	(〃 12月 5日)		

4 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

当財団では、理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、各規程及び各要綱等を整備し、これに基づき業務を遂行しています。

また、当該規程等の運用状況について重要な不備が生じていないか確認するため、管理部門及び事業部門において常時、相互チェックを行っています。令和7年度における主な取り組みは次のとおりです。

(1) 内部監査

内部監査実施要領に基づき、財団運営の適正かつ能率的な運営に資することを目的として、対象所属の事務の実施状況等を確認しました。これによる特筆すべき注意事項等はなく、概ね適正であることを確認しました。

なお、令和7年度は鴨川青少年自然の家を対象として実施しました。

(2) 個人情報関係の監査

個人情報保護基本規程に基づき、監査員を編成し、監査計画により個人情報の適正な管理状況について内部監査を実施するとともに、不適合事項及び改善を要する事項について相互確認を行い、適正な個人情報の取扱いの確保に努めました。

(3) コンプライアンス研修

個人情報の取扱いを主題として、個人情報保護規程に基づく研修を実施し、職員の意識向上に取組みました。

(4) 公益通報への対応

公益通報者保護法に基づく公益通報を受理し、所要の調査を実施の上、必要な是正措置を講じるなど、適切に対応しました。

5 運営体制の充実を図るための取組

当法人では、個人情報の適正な管理およびリスク管理体制の充実に取り組んでいます。

令和7年度は、個人情報の適正管理や不適正使用リスクの軽減を目的として、関係職員に業務用携帯電話を貸与し、緊急連絡体制の整備を進めるなど、自立的ガバナンスの充実を図っています。